

企 画 部 企 画 課

1 総合計画の進行管理

平成 24 年度分 第 2 次米子市総合計画の数値目標進捗状況調査の実施

(1) 調査の目的

平成 23 年に策定した「第 2 次米子市総合計画（米子いきいきプラン 2011）」の進捗状況を把握するため、指標として掲げた数値目標の平成 24 年度末（計画 2 年目）における進捗状況調査を実施した。

(2) 調査対象

第 2 次米子市総合計画の数値目標 59 項目を調査対象とした。

なお、「まちづくりに関する市民アンケートの結果」を数値目標としている 5 項目については、平成 25 年 5 月から 6 月に実施した市民意識調査の結果を平成 24 年度末の進捗状況とした。

また、国の制度改正により 2 項目の指標変更を行うとともに、米子市が施策や事業を進めていくうえでより適切な数値目標とするため、7 項目の目標値の見直しを行なった。

【まちづくりの目標別数値目標調査対象項目数】

まちづくりの目標 等	調査対象項目数
1 『ひと』がいきいき 生涯健やかで安全・安心に暮らせるまちづくり	20
2 『こころ』がいきいき 人を大切にし、豊かな心と文化を育むまちづくり	6
3 『ふるさと』がいきいき 人と自然が調和した快適で住みよいまちづくり	6
4 『あした』がいきいき 活力とにぎわいを生み出す元気なまちづくり	20
5 『市役所』がいきいき 市民のために挑戦する市役所づくり	7
合 計	59

(3) 目標達成度

目標達成度は、その状況から、つぎの「A～D」の 4 つの区分に分類した。

A＝目標値を達成している

B＝概ね順調に進捗しており、目標を達成できる見込みである

C＝進捗状況が停滞しており、目標を達成するためには取り組みを強化していく必要がある

D＝基準値（平成 21 年度または平成 22 年度の現状値）を下回っている

(4) 調査結果

計画 2 年目（平成 24 年度末実績）の数値目標の進捗状況は、20 項目（33.9%）が「目標値を達成」した。また、「概ね順調に進捗しており、目標を達成できる見込み」が 24 項目（40.7%）あり、これらを合わせると 7 割を上回る 44 項目（74.6%）が目標達成・目標達成見込みとなった。

その一方で、「進捗状況が停滞しており、取り組みを強化する必要がある」ものが 6 項目（10.2%）、「基準値を下回った」ものが 9 項目（15.3%）あった。

また、昨年度と比較すると調査対象数が 5 項目増えたため、基準値以下の項目が 2 項目増えてはいるが、達成済みの項目も 8 項目増加しており、概ね順調に推移している。

まちづくりの目標別に見ると、「5 『市役所』がいきいき」で 5 項目（71.4%）、「3 『ふるさと』がいきいき」で 3 項目（50.0%）が目標を達成し、2 つの「まちづくりの目標（基本計画）」で目標達成率 50%を上回った。

まちづくりの目標	項目数	A 目標達成	B 概ね達成	C 進捗停滞	D 基準値以下
1『ひと』がいきいき	20	7 (35.0%)	7 (35.0%)	4 (20.0%)	2 (10.0%)
2『こころ』がいきいき	6	0 (0.0%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)
3『ふるさと』がいきいき	6	3 (50.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)
4『あした』がいきいき	20	5 (25.0%)	10 (50.0%)	1 (5.0%)	4 (20.0%)
5『市役所』がいきいき	7	5 (71.4%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合 計	59	20 (33.9%)	24 (40.7%)	6 (10.2%)	9 (15.3%)

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、章ごとの割合の合計が 100%にならない場合がある。

2 平成 25 年まちづくりに関する市民アンケートの実施

(1) 調査目的

平成 23 年に策定した「第 2 次米子市総合計画(米子いきいきプラン 2011)」の基本計画の中間年にあたり、計画の進行管理や今後の市政運営の参考とするため、市民生活における現状の満足度やまちづくりの重要度など、まちづくりに対する市民の意見や意向を把握することを目的として実施した。

(2) 調査対象・調査方法

調査対象 16 歳以上の米子市民 (平成 9 年 4 月 1 日以前に生まれた人)

調査方法 年代別構成人口比率により按分し無作為に抽出した 3,000 人に対し、アンケート調査票を郵送配付し、郵送回収を依頼した。

調査時期 平成 25 年 5 月～6 月

(3) 回収結果

配布数 3,000

有効回収数 1,050

有効回収率 35.2%

(4) 質問項目

問 1 あなた自身について

問 2 米子市の広報活動について

問 3 あなたの身近な環境と省エネルギー・再生可能エネルギーについて

問 4 第 2 次総合計画に掲げる施策の市民生活における満足度とまちづくりの重要度について

問 5 米子市のまちづくりの基本方向について

問 6 米子市が取り組むべき課題やまちづくりの提言などについて

(5) 業務委託

業務名 まちづくり市民意識調査業務

委託先 株式会社シーズ総合政策研究所

委託期間 平成 25 年 4 月 8 日～7 月 31 日

委託金額 1,029,000 円

3 行政評価の実施

(1) 事務事業評価

翌年度に行なう予定の事務事業のうち、全ての新規事業と、継続事業のうち所管部長等の選定した事業、前年度評価結果を検証すべき事業等（新規事務事業 32 本、継続事務事業 100 本）について評価を実施した。

評価は、各担当課による「1 次評価」と、副市長を委員長とし各部長等で構成する事務事業評価委員会による「2 次評価」の 2 段階で実施し、継続事務事業のあり方や新規事業の実施などについて検討を行なった。

2 次評価の結果は、次のとおりである。

ア 「継続事務事業における今後の方向性」の判断結果

現状のまま継続	見直しして継続	休止・廃止
95 本 (95%)	1 本 (1%)	4 本 (4%)

イ 「新規事務事業における実施等の区分」の判断結果

実施	見直しして実施	実施は適当ではない
27 本 (84.4%)	1 本 (3.1%)	4 本 (12.5%)

(2) 施策評価

総合計画の進行管理と今後の施策の方向性を示すため、第 2 次米子総合計画（米子いきいきプラン 2011）のまちづくりの基本方向 32 項目について 1 次評価を行なった。

4 米子市ロゴマーク、イメージキャラクターの活用

(1) イベント等への派遣

ヨネギーズの着ぐるみを各種イベントに 77 回貸し出した。

(2) 印刷物・キャラクターグッズとしての活用

米子市が発行する各種印刷物や職員の名刺・名札に活用されているほか、民間事業者を含めて年間 58 件の使用申請があり、チラシ、リーフレット、雑誌等への掲載や T シャツ、ボードゲーム等に活用された。

(3) その他の活用

ヨネギーズが市内の観光スポット等を紹介するマンガ「ヨネギーズ物語」を 6 話作成し、ふるさと納税の米子市民体験パックへの同梱、市ホームページへの掲載、イベント等での配布等を行なった。

Twitter（ツイッター）を活用して、随時米子市の行政情報や観光案内を提供した。

ヨネギーズのセロテープを作成し、ふるさと納税をした人に記念品として贈呈した。

5 中海・宍道湖・大山圏域市長会関係

(1) 総会、副市長会及び幹事会の開催

ア 総会の開催

第 1 回 平成 25 年 7 月 23 日（火） 松江東急イン

- ・平成 24 年度決算報告
- ・平成 25 年度事業の実施状況について

第 2 回 平成 25 年 11 月 22 日（金） 出雲市役所

- ・平成 25 年度事業の実施状況について
- ・平成 26 年度事業計画の概要（案）について

第 3 回 平成 26 年 3 月 28 日（金） 出雲市役所

- ・平成 25 年度事業報告及び決算見込報告

- ・平成 26 年度事業計画及び予算案

イ 副市長会の開催

平成 25 年 11 月 15 日（金） 松江市役所

- ・中海・宍道湖・大山圏域市長会の事業実施状況について
- ・意見交換

ウ 幹事会の開催

第 1 回 平成 25 年 7 月 18 日（木） 松江市役所

- ・平成 24 年度決算報告
- ・平成 25 年度事業の実施状況について
- ・中海・宍道湖・大山圏域災害時相互応援協定の締結について
- ・中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との意見交換会について

第 2 回 平成 25 年 11 月 15 日（金） 松江市役所

- ・平成 25 年度事業の実施状況について
- ・平成 26 年度事業計画の概要（案）について

第 3 回 平成 26 年 3 月 18 日（火） 松江市役所東出雲支所

- ・平成 25 年度第 3 回総会の議題について

(2) 主な事業

ア 中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョンの広報周知

平成 24 年度に策定した中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョンについて、広報周知のためビジョンを印刷製本し、関係機関に配布した。

イ 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との意見交換会

第 1 回 平成 25 年 7 月 23 日（火） 松江東急イン

第 2 回 平成 26 年 2 月 14 日（金） くにびきメッセ

ウ インバウンド対策事業

(ア) 台湾において圏域を P R するため、台北駅構内への看板設置や春節建国花市へのブース出展等を実施した。

(イ) クルーズ船寄港時のおもてなし事業として、お出迎えと、観光案内及び物販ブースの運営等を行なった。

エ プロスポーツチームを通じた交流

中海圏域の一体感の醸成と市長会の P R を目的に、山陰に本拠地を置く b j リーグ島根ササノオマジックのリーグ公式戦を冠スポンサーとして開催した。

オ 海外商談会支援事業

圏域内企業が海外で開催される商談会等に参加するための費用に対して補助を行なった。

カ 海外での圏域物産展の開催

ウラジオストク市において、中海・宍道湖・大山圏域ブランド展 i n ロシアを開催した。

6 鳥取県西部地域振興協議会(事務局)

(1) 協議会・幹事会・連絡会の開催

ア 協議会の開催

平成 25 年 5 月 13 日（月） 江府町 休暇村「奥大山」

- ・平成 24 年度事業報告及び決算報告について

- ・平成 25 年度事業計画及び予算案について

イ 幹事会の開催

平成 25 年 5 月 2 日（木） 米子市役所

- ・平成 24 年度事業報告及び決算報告について
- ・平成 25 年度事業計画及び予算案について

ウ 連絡会議の開催

第 1 回 平成 25 年 4 月 12 日（金） 米子市役所

- ・平成 24 年度事業報告及び決算報告について
- ・平成 25 年度事業計画及び予算案について

第 2 回 平成 25 年 7 月 29 日（月） 米子市役所

- ・企業誘致の連携について

第 3 回 平成 25 年 11 月 1 日（金） 米子市役所

- ・企業誘致の連携について
- ・平成 26 年度予算について

第 4 回 平成 26 年 2 月 20 日（木） 米子市役所

- ・企業誘致の連携について

(2) 要望活動

ア 平成 25 年 6 月 6 日（木） 国土交通省及び県選出国會議員 要望活動

中国横断自動車道岡山米子線（米子 I C～蒜山 I C）の 4 車線化等について
協議会会長 米子市長、南部町長、伯耆町長及び日南町副町長が要望書提出

イ 平成 25 年 8 月 22 日（木） 鳥取県知事 要望活動

中国横断自動車道岡山米子線（米子 I C～蒜山 I C）の 4 車線化等について
協議会会長 米子市長が要望書提出

(3) 勉強会等の開催

西部総合事務所との道路整備に関する意見交換会

平成 26 年 2 月 24 日（月） 米子市役所

(4) 鳥取県西部地域の発展を促進する事業

企業誘致に関する連携

ア 「第 16 回関西機械要素技術展」への出展及び参加

平成 25 年 10 月 2 日（水）～4 日（金）

場所 インテックス大阪

イ 鳥取県西部地域企業立地促進補助金の交付

補助実績 4 件 120 万円

7 定住自立圏構想関係

定住自立圏形成協定にもとづき、中海・宍道湖・大山圏域市長会へ参画して連携事業を実施した。

(1) 情報発信事業

インターネットで情報を発信し、圏域 PR グッズ及びドライバー向けパンフレットを作成した。山陽方面に対しては観光案内番組を制作し、CATVでの放送を行った。

(2) 産業支援事業

ア 圏域企業情報のサイト「中海・宍道湖・大山圏域ものづくりn e t」を構築した。

イ 中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会が実施するビジネスマッチング商談会と名刺交換会への支援を行なった。

ウ 鳥取県と連携し、ロシアとの商談会等に参加する圏域内企業へのサポートを行なう境港ロシアビジネスサポートセンターの運営を支援した。

(3) 環日本海貨客船航路就航支援事業

環日本海定期貨客船の運航支援をする者に対し、鳥取県と連携を図り支援を行なった。

(4) 空港利用促進事業

米子空港の冬季空港利用促進事業等を支援した。

(5) 自然体験学習事業

圏域の小学生を対象に、中海や宍道湖の自然や水質の環境学習を行なった。

(6) 電気自動車普及啓発事業

圏域内の急速充電器のマップを中心としたパンフレットを作成した。

(7) 職員人事交流の実施

米子市と安来市、松江市と境港市の間で相互に職員を派遣し人事交流を行なった。

(8) 中海架橋建設に向けた連携事業

圏域の道路網における中海架橋のあり方の検討や「中海架橋建設連絡協議会」の再開に向けた活動に活かすため、中海架橋のB/C調査を行なった。

8 移住定住推進事業

企画部企画課内の「米子市移住定住相談窓口」によるU J Iターン希望者の相談に対し、就職、子育て、医療、高齢者サービス、住宅等の紹介等をワンストップサービスで行なった。

県外（関西）で開催された、公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構主催の移住定住相談会（鳥取県 I J UターンB I G相談会）に参加し、U J Iターン希望者の相談業務を行なったほか、米子市の魅力の情報発信と他市町村における取組施策の情報収集に努めた。

9 国政・県政に対する要望事項

米子市と米子市議会との連名により、国及び県に対し要望事項を取りまとめ提出した。

(1) 国政に対する要望事項

北朝鮮による拉致被害者の早期帰国の実現と調査の徹底について 他 27 件

公共土木事業関係 直轄皆生海岸侵食対策事業の推進 他 9 件

(2) 県政に対する要望事項

北朝鮮による拉致被害者の早期帰国の実現と調査の徹底について 他 20 件

公共土木事業関係 米子岸本線 他 75 件

10 鳥取県市長会関係

鳥取県市長会を通じて、国、県に対し要望活動を行なった。

(1) 国政に対する要望事項

公的資金補償金免除繰上償還による高金利地方債の借換制度の拡大について 他 17 件

(2) 県政に対する要望事項

国民健康保険事業に対する県費助成について 他 4 件

1 1 鳥取県西部広域行政管理組合

次の事務について、鳥取県西部広域行政管理組合で共同処理を行なった。

- (1) 老人福祉施設（うなばら荘）運営管理
- (2) 介護、障害認定審査
- (3) 病院群輪番制及び小児救急医療支援事業
- (4) 火葬場（桜の苑）運営管理
- (5) 不燃物中間処理場（リサイクルプラザ）、灰溶融処理施設（エコスラグセンター）、最終処分場、し尿処理施設（白浜浄化場、米子浄化場）運営管理
- (6) 消防本部及び消防署の設置運営
- (7) 視聴覚ライブラリーの運営

1 2 婚活サポート事業

独身男女の出会いの場を提供する「米子市婚活サポート事業」において、婚活イベントを計 3 回開催した。

(1) 実施委託団体及び委託料

えびす会 500,000 円

(2) 開催結果

ア ラブエビス第 1 弾「キューピッドワゴン」

開催日 平成 25 年 11 月 9 日（土）

開催場所 米子市内

参加人数 男性 16 人 女性 11 人 計 27 人

イ ラブエビス第 2 弾「80 年代アイドルポップス放送局」

開催日 平成 25 年 12 月 8 日（日）

開催場所 ダラズクリエイトボックス（法勝寺町 70）

参加人数 男性 11 人 女性 4 人 計 15 人

ウ ラブエビス第 3 弾「ロマンチック神楽ナイト」

開催日 平成 26 年 3 月 29 日（土）

開催場所 ワインレストランクスクス（末広町 144）

参加人数 男性 16 人 女性 16 人 計 32 人

1 3 史跡米子城跡ブラッシュアップ事業（企画課分）

城跡整備の検討資料を作成するため、緊急雇用創出事業を活用して以下の調査を行なった。

(1) 城跡アンケート調査

臨時職員を雇用し、米子城跡の利用者に対してアンケート調査を実施した。

(2) 史跡米子城跡立木調査業務委託

業務委託により城跡の毎木調査を実施した。